

令和 7 年度

歯科医療安全研修会

- 日 時 令和 8 年 2 月 1 日（日）10：00 ～ 12：00
- 場 所 岡山県歯科医師会 もも丸ホール及び
Zoom による Web 配信（ライブ・アーカイブ）
- 主 催 岡山県 ・ 岡山県歯科医師会
- 共 催 岡山県歯科技工士会 ・ 岡山県歯科衛生士会

日 程

10:00	開 会		
	挨 拶	岡山県保健医療部医療推進課 岡山県歯科医師会	課長 鷺田 陽介 様 会長 西岡 宏樹
10:15	講 演	「HIV 診療のパラダイムシフト～U=U および PrEP の 現状から HIV 陽性者歯科診療ネットワークの運用まで～」 川崎医科大学 総合臨床医学 特任教授（所属長） 川崎医科大学附属病院 特別院長補佐 講師 和田 秀穂 先生	
12:00	閉 会		

※ もも丸ホールと Web でのハイブリッド開催

※ 会場受講は正会員・準会員・特別会員に限らせていただきます

この研修会は『歯科点数表の初診料の注 1』の施設基準届け出に該当する研修会です

プログラム・日歯生涯研修事業 I C カードをご持参ください

一般社団法人 岡山県歯科医師会

「HIV 診療のパラダイムシフト

～U=U およびPrEP の現状からHIV 陽性者歯科診療ネットワークの運用まで～」



川崎医科大学 総合臨床医学 特任教授（所属長）
川崎医科大学附属病院 特別院長補佐

講師 和田 秀穂 先生

【抄録】

HIV の感染経路には性交渉、血液曝露、母子感染があり、その感染確率は状況により異なる。性交渉では1回あたり0.03～0.2%、医療行為における針刺し事故では約0.3%と報告されている。しかし、抗HIV療法（antiretroviral therapy: ART）によって治療が成功し、HIV-RNA が20 copies/mL 未満に抑制されている場合には、感染確率は事実上ほぼゼロとなることが明らかとなっている。実際、先進国では2000年以降、医療現場での針刺しによる新規感染例は報告されていない。

1996年以降、強力なARTが導入され、HIV-RNA の長期的抑制が可能となった。大規模コホート研究では、HIV-RNA が持続的に抑制された群では死亡率が有意に低下し、HIV未感染者とほぼ同等の予後を示すことが報告されている。特に、副作用が大幅に改善され強力な抗ウイルス効果を有するインテグラーゼ阻害薬の登場により、治療失敗は極めてまれとなった。さらに、2022年には1～2か月毎の筋注製剤、2023年には6か月毎の皮下注製剤が承認され、患者特性に応じた治療選択肢が拡大している。

令和3年度の歯科医療安全研修会では、適切な治療を継続していればHIVは他者に感染しないことを示すU=U（undetectable=untransmittable）、およびHIV陰性者が曝露前に内服する予防策であるPrEP（pre-exposure prophylaxis）に関する情報提供を行った。現在進められている「後天性免疫不全症候群及び性感染症に関する特定感染症予防指針の改正」では、HIV感染症・エイズに関する最新かつ正確な知識（U=U）の不足等により、医療従事者や介護従事者による診療・サービス提供の拒否等が偏見・差別に該当し得ることが明記された。また、PrEPについても、適切に利用することで性的接触に伴うHIV感染を高率に予防できる有用な手段として位置づけられている。さらに、同研修会以降、岡山県歯科医師会のご尽力によりHIV陽性者歯科診療ネットワークが構築・運用され、県内のPWH（People with HIV）の健康アウトカムが明らかに向上したことは、本取り組みの大きな成果といえる。

講師紹介

【 略 歴 】

昭和 59 年 3 月 川崎医科大学医学部医学科卒業
昭和 59 年 5 月 川崎医科大学附属病院内科研修医
昭和 61 年 4 月 川崎医科大学内科学（血液）臨床助手
昭和 63 年 4 月 自治医科大学大学院特別聴講生（血液学：三浦恭定教授）
平成 4 年 3 月 川崎医科大学大学院医学研究科（血球生化学：八幡義人教授）修了
平成 6 年 4 月 川崎医科大学内科学（血液）講師
平成 12 年度 研究：守分奨学金受賞（受賞研究テーマ：赤血球膜タンパクの発現と分化）
平成 14 年 4 月 川崎医科大学内科学（血液）助教授
平成 17 年度 教育：川崎医科大学附属病院特別賞（卒後教育）
平成 19 年 4 月 川崎医科大学血液内科学准教授
平成 19 年 10 月 川崎医科大学血液内科学教授
平成 20 年 4 月 川崎医科大学附属病院輸血部長併任～平成 30 年 3 月
平成 24 年度 臨床：公衆衛生功労者 岡山市保健所長表彰（公衆衛生事業功労）
平成 25 年 4 月 川崎医科大学附属病院院長補佐併任～平成 27 年 3 月
平成 27 年 4 月 川崎医科大学学長補佐併任～令和元年 9 月
平成 28 年度 教育：川崎医科大学特別賞（卒前教育）
平成 29 年度 臨床：公衆衛生功労者岡山市長表彰（公衆衛生事業功労）
平成 30 年 4 月 川崎医科大学血液内科学主任教授
令和元年 10 月 川崎医科大学附属病院副院長併任～令和 7 年 3 月
令和 7 年 4 月 川崎医科大学総合臨床医学特任教授（所属長）
川崎医科大学附属病院特別院長補佐

【 役職等 】

日本内科学会：評議員、中国地区評議員、セルフトレーニング問題作成委員、
内科認定医、総合内科専門医、指導医
日本血液学会：評議員、中国四国地区評議員、血液専門医、指導医、ICD11 和訳作業部会委員、
MPN 研究実行委員会 委員
日本輸血・細胞治療学会：評議員、中国四国支部支部長、中国四国地区代議員
規約・あり方委員会評議員タスクフォース、輸血認定医、
輸血機能評価認定制度視察員(I&A 制度視察員)
日本感染症学会：感染症専門医、指導医、ICD 認定医
日本エイズ学会：代議員、認定医、指導医、診療における HIV-1/2 感染症の診断ガイドライン 2020WG
日本性感染症学会：代議員、認定医

MEMO